

# DRY-WiFiV5c DRY-WiFiV5d



## 取扱説明書

12V車専用

このたびは、弊社製品のドライブレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機はスマートフォンアプリに対応し、同梱品のmicroSDカード、またはスマートフォンに動画を常時録画します。



クラウドサービスは2021年まで無償サポートを継続いたします

**注意**

- 事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず電源をOFFにしてからmicroSDカードを抜いて保管してください。
- 電源がONの状態でもmicroSDカードの抜き差しを行わないでください。microSDカード破損の原因となります。必ず、電源OFF後、電源ランプと液晶の画面が3秒以上消灯したことを確認し、microSDカードの抜き差しを行ってください。

## 目次

はじめに	
安全上のご注意	2
使用上のご注意	7
本書をお読みいただくにあたって	9
各部の名称と働き	10
取り付けかた	12
microSD カードの装着 / 取り外し	14
電源について	15
録画について	20
録画ファイルの読み出しについて	24
映像を記録する	
映像を記録する	27
動画記録モード	27
設定を変更する	29

映像を再生する	
録画ファイルを再生する	34
アプリ	
専用アプリ DRY-WiFi Remote について	36
撮影する	38
録画ファイルを再生する	42
設定	46
その他	
故障かな?と思ったら	53
仕様	54
アフターサービスについて	55
保証書	裏表紙

## 保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番 DRY-WiFiV5c, DRY-WiFiV5d	
S/No.	
お買い上げ日	年 月 日 <small>お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。</small>
保証期間	お買い上げの日から1年
お客様 お名前 〒 住所	TEL ( )
販売店 店名 住所	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

### <無料修理規定>

- 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本機及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
  - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
  - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
  - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
  - (ヘ) 本書のご提示がない場合
  - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

- (チ) 同梱品や消耗品等の消耗による交換
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄





※本書を紛失しないよう大切に保管してください。  
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

**警告**：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。


**注意**：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。


## 絵表示について


-  この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
-  この記号は、してはいけない「禁止」内容です。
-  この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。
-  この記号は、関連するページを示します。


## ●安全上お守りいただきたいこと


### 警告


 異物が入ったり、水に浸かったり、煙が出ている、変な臭いがある等、異常な状態のまま使用しないでください。発火の恐れがありますので、すぐに使用を中止して、修理をご依頼ください。

 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

 サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および同梱品を分解したり、修理しないでください。感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。


 穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。感電や故障の原因となります。


 破裂、発火や火傷の原因となりますので、本機を火の中、電子レンジ、オープンや高圧容器に入れないでください。また、本機を加熱したりしないでください。


 本機を次のような場所に保管しないでください。変色したり、変形したり、故障の原因となります。


- ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内


### 注意


 気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使い続けしないでください。


 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

 落としたり、強いショックを与えない。破損、故障の原因となります。


 各端子に異物が入ると、故障の原因となることがありますので取り扱いにご注意ください。


 ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。塗装面を傷めます。


 濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。

 本機は精密機械です。静電気/電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。


### 警告

 取り付けは、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。


 手動記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。


 急発進したり急ブレーキをかけないでください。安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

### 注意


 カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。乾いた布などでふくとキズの原因となります。


### 警告


 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

 エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。

### 注意

 取り付けは確実に行ってください。本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

 突起部分などでケガをする恐れがありますので、取り付けや取り外しの際はご注意ください。

 運転中に画面等を注視しないでください。前方不注意による事故の原因となります。

！ 走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

⊘ 運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

⊘ 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

● 電源コードについて

⚠ 警告

！ 電源コードは確実に差し込んでください。接触不良を起こして火災の原因となります。

！ 指定以外のヒューズは使用しないでください。指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。

！ お手入れの際は、シガープラグコードを抜いてください。感電の原因となります。

⊘ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

！ シガーライターソケットは単独で使ってください。タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

！ シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れをよく拭いてください。接触不良を起こして火災の原因となります。

⊘ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や感電の原因となります。

⚠ 注意

！ エンジンも止めてもシガーライターソケットに常時電源が供給される車種の場合、ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。

⊘ シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずコードを持たずに抜いてください。

● microSDカードについて

⚠ 警告

！ microSDカードの出し入れは、本機の電源がONになっていないことを確認して行ってください。

！ microSDカードは一方方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

● 内蔵リチウムイオン電池について

⚠ 危険

⊘ リチウムイオン電池を分解したり、改造したりしないでください。リチウムイオン電池が液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

⊘ リチウムイオン電池を火の中に投入したり、加熱しないでください。絶縁物が溶けたり、電解液に引火したりして、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

⊘ リチウムイオン電池を火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所（80℃以上）で使用したり、放置しないでください。熱により樹脂セパレータが損傷した場合、リチウムイオン電池が内部ショートし液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

⊘ リチウムイオン電池を水や海水などに浸けたり、濡らさないでください。リチウムイオン電池内部で異常な化学反応が起こり、リチウムイオン電池が液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

⊘ 火のそばや炎天下などでの充電や放置はしないでください。リチウムイオン電池内部で異常な化学反応が起こり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

⊘ 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。リチウムイオン電池が破壊、変形され内部でショート状態になり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

⊘ 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。リチウムイオン電池を液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火させる原因となる恐れがあります。

⊘ リチウムイオン電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると液により目に障害を与える原因となります。

⚠ 警告

！ 充電の際に所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。リチウムイオン電池を液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火させる原因になる恐れがあります。

！ リチウムイオン電池が漏液したり、異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください。液漏れした電解液に引火し、発煙、破裂、発火の原因となります。

## 安全上のご注意

### ⚠ 注意

❗ リチウムイオン電池の充電温度範囲は、次のとおりです。充電：0℃～+45℃  
リチウムイオン電池が急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。また、リチウムイオン電池の性能や寿命を低下させることがあります。

❗ リチウムイオン電池が液漏れして、液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

❗ お買い上げ後、初めて使用の際に、さびや異臭、発熱、その他異常と思われたときは、使用しないでください。お買い上げの販売店にご持参ください。

❗ リチウムイオン電池は、乳幼児の手の届かない所に保管してください。

❌ 濡れたリチウムイオン電池は使用しないでください。故障、感電、発熱、発火の原因となります。

❌ 濡れた手でリチウムイオン電池をさわらないでください。感電の原因となることがあります。

❌ 通電中のリチウムイオン電池に長時間触れないでください。温度が相当上がることがあります。長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

❌ 直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。液漏れ、発熱、発煙の原因になる恐れがあります。また、リチウムイオン電池の性能や寿命を低下させることがあります。

## 使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、弊社は一切その責任を負いません。

- ・ 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 説明書に記載の使用法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機の仕様および外觀、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・ 本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

### ■ 録画についての注意

- ・ 本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・ 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・ 本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、弊社は一切その責任を負いません。
- ・ 本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、弊社は一切責任を負いません。
- ・ 本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- ・ LED 式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については弊社は一切責任を負いません。
- ・ 録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- ・ 運転者は走行中に電源ランプ等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ記録するときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- ・ 事故発生時は、録画ファイルが書ききれないように必ず SD カードを保管してください。
- ・ 本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
  - ※ 本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
  - ※ 水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
  - ※ 長期間使用しなかった場合。

### ■ シガープラグコードに関する注意

- ・ シガープラグコードは、必ず同梱品をご使用ください。
- ・ シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズ(2A)と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
- ・ ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

### ■ 電源直結コードに関する注意

- ・ 電源直結コードは、必ず同梱品をご使用ください。
- ・ 電源直結コードのヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズ(2A)と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
- ・ ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

### ■ 撮影された映像について

- ・ 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

### ■ GPS 測位に関する注意

- ・ 本機を初めてご使用になる場合は、GPS 測位が完了するまで 20 分以上時間がかかる場合があります。
- ・ 走行速度や進行角度、距離などの表示は、GPS の電波のみで計測しています。測位状況によって、実際とは異なる場合があります。



## 使用上のご注意

### ■ microSD カードに関する注意

- SD カードリーダーライターは、使用の SD カード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みができなくなる可能性があります。
- SD カードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。  
本機の動作中に SD カードの取り出しや挿入を行うと、SD カードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- SD カードは NAND 型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、1～2週間に一度、フォーマットを行うことをお勧めします。
- SD カードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合や SD カードエラーになり使用できない場合があります。
- SD カードの消耗に起因する故障または損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
- 重要な記録データは、パソコンに保存や DVD など別媒体での保管をお勧めします。
- SD カードは必ず本機でフォーマットしてから使用してください。
- 本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、弊社は一切その責任を負いません。

### ■ 取り付けに関する注意

- 本機は取扱説明書に従って正しく取り付けください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。
- 本機の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。

### ■ 内蔵リチウムイオン電池に関する注意

- リチウムイオン電池には寿命があります。
  - 充電しても使用時間が短くなった場合は、販売店に内蔵電池（充電式リチウムイオン電池）の交換（修理対応）をご依頼ください。
  - 安全のため、高温時や低温時は充電ができません。充電可能な温度範囲は、0～+45℃になります。
- 不要になったリチウムイオン電池は金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って、お住まいの自治体の規則に従って正しくリサイクルしていただくか、最寄りのリサイクル協力店へお持ちください。リサイクル協力店につきましては、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。  
<http://www.jbrc.net/hp/contents/jbrc/index.html>



リチウムイオン電池はリサイクルへ

### ■ 液晶パネル部に関する注意

- 表示部を強く押ししたり、爪やボールペンなどの先の尖ったもので操作をしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- 表示部を金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- 周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。
- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。

### ■ 他社製品との組み合わせに関する注意

- 他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

## 本書をお読みいただくにあたって

- はじめに** P. 2 「安全上のご注意」や「同梱品の確認」、「充電方法」など、まずお読みいただきたい内容が記載されています。
- 映像を記録する** P. 27 動画記録モードの使いかたを説明しています。
- 映像を再生する** P. 34 記録したファイルを本機上で確認します。
- アプリ** P. 36 アプリ (DRY-WiFi Remote) の使いかたを説明しています。
- その他** P. 53 「故障かな?と思ったら」が記載されています。仕様などはこちらをご覧ください。

実際にご利用いただく流れに沿って内容を構成しています。

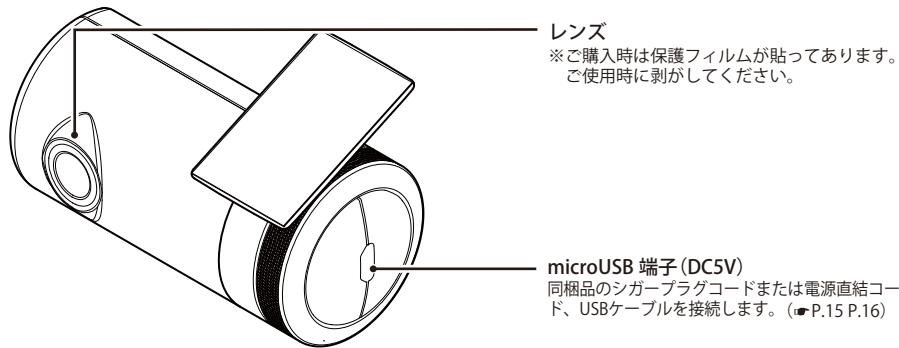
### 専用ビューアソフトについて

- GPS から取得した位置情報・速度と撮影した映像を連動してご覧になれる専用ビューアソフトを使用できます。
- 専用ビューアソフトの使用方法、およびダウンロードは弊社ホームページを参照してください。  
<http://www.yupiteru.co.jp/>

# 各部の名称と働き

## ● 本体

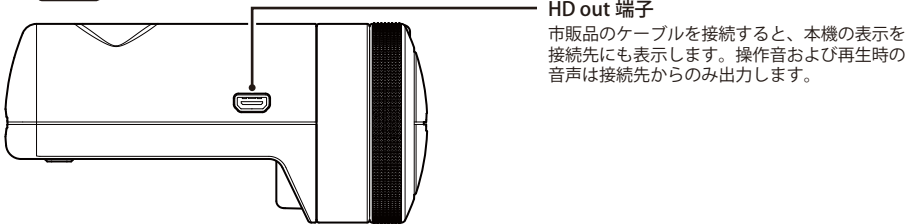
### 正面



**レンズ**  
※ご購入時は保護フィルムが貼ってあります。  
ご使用時に剥がしてください。

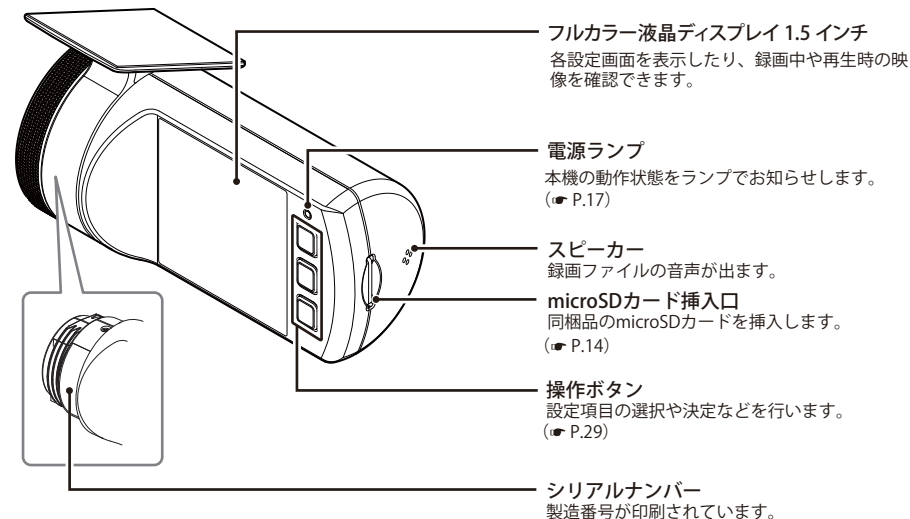
**microUSB 端子 (DC5V)**  
同梱品のシガープラグコードまたは電源直結コード、USBケーブルを接続します。(●P.15 P.16)

### 下面



**HD out 端子**  
市販品のケーブルを接続すると、本機の表示を接続先にも表示します。操作音および再生時の音声は接続先からのみ出力します。

### 背面



**フルカラー液晶ディスプレイ 1.5 インチ**  
各設定画面を表示したり、録画中や再生時の映像を確認できます。

**電源ランプ**  
本機の動作状態をランプでお知らせします。(●P.17)

**スピーカー**  
録画ファイルの音声が出ます。

**microSDカード挿入口**  
同梱品のmicroSDカードを挿入します。(●P.14)

**操作ボタン**  
設定項目の選択や決定などを行います。(●P.29)

**シリアルナンバー**  
製造番号が印刷されています。

## 同梱品

ご使用前に同梱品をお確かめください。

- ブラケット ……………1
- ナット ……………1
- microSD カード(8GB) ……………1
- 両面テープ ……………1
- 取扱説明書・保証書(本書) ……1

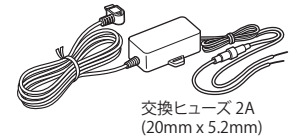
### ・ DRY-WiFiV5c

- 5V コンバーター付シガープラグコード(約 4 m) ……………1



### ・ DRY-WiFiV5d

- 電源直結コード(約 4 m) ……………1

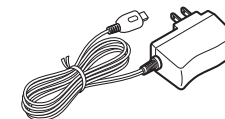


・本機には、お買い上げの日から 1 年間の製品保証がついています。ただし、microSD カード、両面テープなどの消耗品は保証の対象となりません。  
・本機の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。

・microSD カードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。microSD カードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。

## 別売品

- ACアダプター OP-E804  
本体 3,000円+税  
ご家庭で使用することができます。



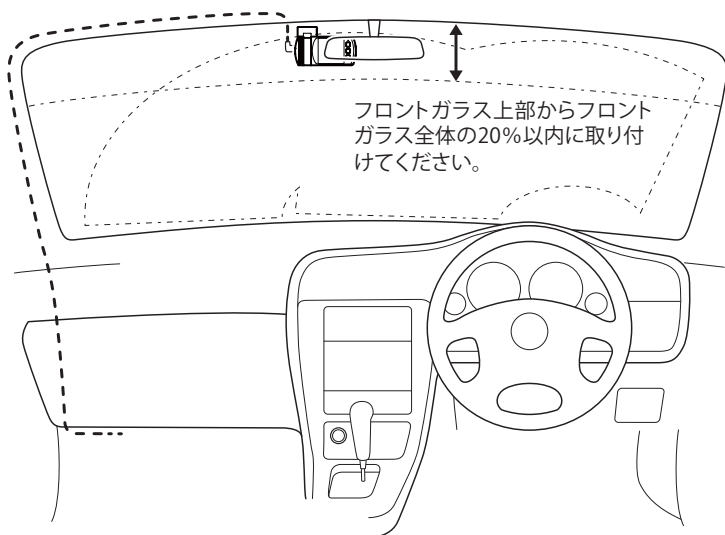
## 同梱品・別売品の追加購入について

- ・同梱品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「X X (機種名) 用 ○○(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・当社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、右記ホームページをご確認ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト  
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

## 取り付けの注意

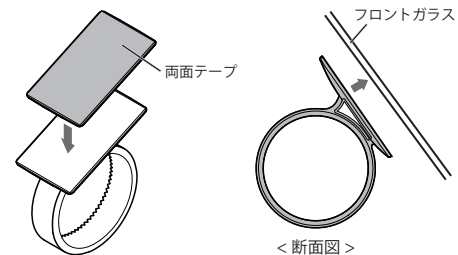
- ・フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
- ・両面テープは所定の位置に、しっかり取り付けてください。
- ・視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。
- ・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- ・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- ・フロントウィンドウ淵の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように、取り付けてください。



## 取り付け・取り外し方法

### 1 ブラケットに同梱品の両面テープを貼り付け、フロントガラスに取り付ける

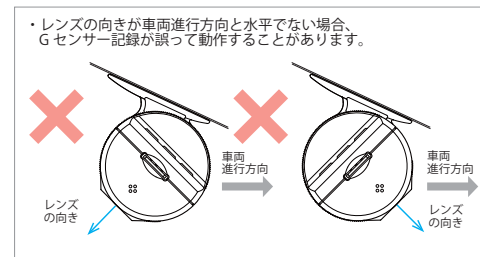
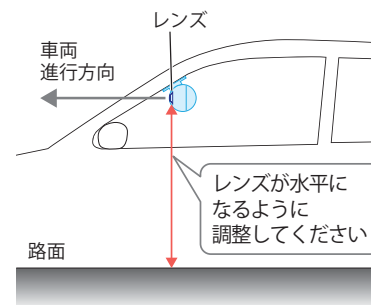
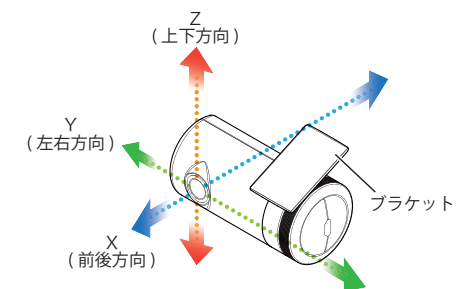
- ※ あらかじめブラケットや、フロントガラスの汚れや脂分をよく落としたあと慎重に取り付けてください。
- ※ 固定力を強くするために本体を取り付けず、24時間以上放置してください。
- ※ 貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。



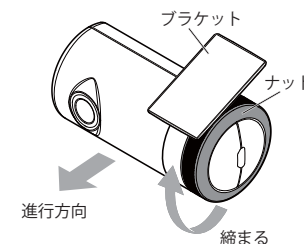
### 2 ブラケットに本体を装着し、レンズの向きを調整する

- ・ GセンサーのX（前後方向）、Y（左右方向）、Z（上下方向）の数値は、レンズの向きが、車両進行方向と水平の状態に固定されています。

- ※ 正しくGセンサー記録（P.22）を動作させるには、必ずレンズの向きが、車両進行方向と水平になるように調整してください。
- ※ カメラレンズに触れないように取り付けてください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなる恐れがあります。



### 3 ナットを締めて固定する



## microSD カードの装着 / 取り外し

- ※ 本機と同梱品以外の microSD カードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
- ※ 本機は、4GB 以上、32GB 以下の microSDHC カードまたは 64GB の microSDXC カードに対応しています。(SD スピードクラス「Class4」以上)
- ※ 2GB 以下の microSD カードは使用できません。

### ⚠ 注意

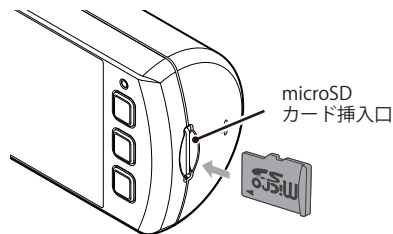
- ・電源を OFF (電源ランプ消灯と液晶の画面消灯) してから行ってください。
- ・micro SD カードは一方向にしか入りません。micro SD カードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
- ・microSD カードは、必ず本機で初期化(フォーマット)してから使用してください。

### 1 電源を OFF (電源ランプ消灯と液晶の画面消灯) にして、microSD カード挿入口に microSD カードを『カチッ』と音がするまで押し込む

右図の向きに合わせて入れてください。

- ・microSD カードを取り出すときは、一旦カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き出します。

※ microSD カードが飛び出した際の紛失にご注意ください。



### ⚠ 注意

- ・事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず電源を OFF にしてから microSD カードを抜いて保管してください。

## 電源について

つづく

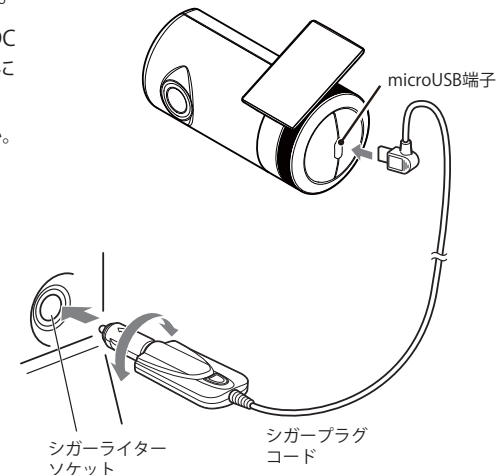
### < DRY-WiFiV5c >

#### 接続方法

同梱品のシガープラグコードを接続する。

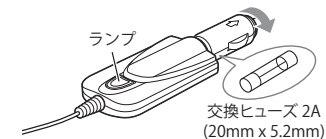
同梱品のシガープラグコードを本機の DC ジャックと車両のシガーライターソケットに差し込む

※ 同梱品のシガープラグコードをご使用ください。



#### ヒューズの交換

接続状態でエンジンをかけても電源が ON にならない (ランプが点灯しない) 場合は、シガープラグコードが奥まで差し込まれていることと、シガープラグ内のヒューズ (2A) が切れていないことを確認してください。図のようにシガープラグの先端を矢印の方向に回し、元に戻すときは、逆方向に回してください。



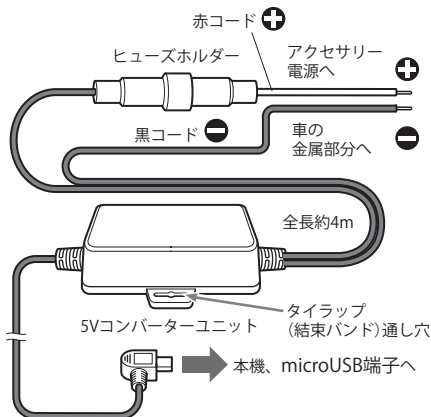


## < DRY-WiFiV5d >

### 接続方法

同梱品の電源直結コードを接続する。

1 赤コード (+) は、必ずエンジンキーと連動して ON/OFF する車両のアクセサリ電源に接続してください。



2 市販品のタイラップ (結束バンド) や両面テープなどを使い、5V コンバーターユニットを固定、配線処理をしてください。

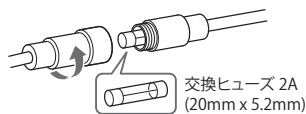
次のような場所への 5V コンバーターユニットの固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバック作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車の電装機器 (アンテナ等含む) などの近く。

- ※ 作業中のショート事故防止のため、車両へ接続するときは、車のバッテリーのマイナス端子を必ずはずしてから作業してください。
- ※ 電源は DC12V (マイナスアース) 車専用です。24V 車ではご使用いただけません。

### ヒューズの交換

接続機器の電源が入らないときは、接続コード類がはずれていないか確認のうえ、ヒューズホルダーの中のヒューズが切れていないか確認してください。ヒューズホルダーを左に回し、元に戻すときは、右に回してください。



### 録画する

本機は、エンジンキーに連動して録画を開始します。

※ 「自動録画」の設定で ON/OFF が可能です。(P.30)

### microSD カードのフォーマット (初期化)

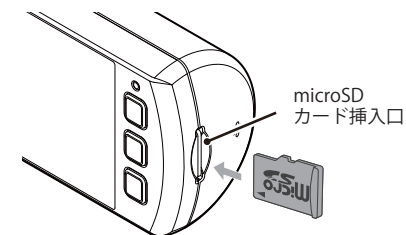
初めてご使用になる場合は、必ず microSD カードを本機でフォーマット (初期化) してください。本機でフォーマットを行わずにご使用になると、本機の動作不良や microSD カードの書き込みエラーなどの不具合が発生し、映像がうまく記録されない場合があります。本機でのフォーマットは、本体操作、アプリ操作のどちらからでも行えます。

- ・本体操作でフォーマットする……P.32「microSD カードをフォーマットする」
- ・アプリ操作でフォーマットする……P.48「microSD カードをフォーマットする」

### 録画の開始

1 本機でフォーマットされた同梱品の microSD カードが挿入されていることを確認する



同梱品の microSD カードが挿入されていないときは、電源が OFF であることを確認して、同梱品の microSD カードを挿入してください。



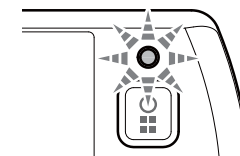
- ※ microSD カードは指定した方向へ正しく入れてください。無理に誤った方向に入れた場合、microSD カードや本機の故障の原因となります。
- ※ エンジンキーを OFF にしても、しばらくは microSD カードに録画ファイルの書き込みが行われています。microSD カードの抜き差しは、電源が OFF の状態で行ってください。

2 車両のエンジンを始動する

・本機に電源が供給されると、動画の記録が開始されます。

・GPS が測位されると、 (緑色) アイコンが画面上部に表示され、GPS 情報を取得します。測位に失敗した場合は、 (灰色) アイコンを表示します。

- ※ 「自動録画」の設定で ON/OFF が可能です。(P.30)
- ※ 「自動録画」を ON にしていない場合は、[●] ボタンまたは [!] ボタンを押してください。(P.28)



本機の動作	電源ランプの状態
電源 OFF で充電中	オレンジ色の点滅
電源 ON で画面 OFF	緑色の点灯
録画中で画面 OFF	緑色の点滅

## 録画の停止

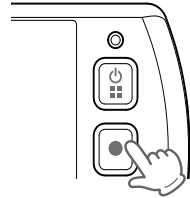
本機は、エンジンキーに連動して録画を停止します。

※「自動録画」の設定でON/OFFが可能です。(P.30)

### 1 車両のエンジンを切る

自動で録画を停止し、電源がOFFになります。

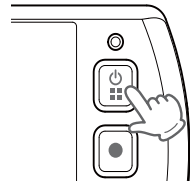
- ・手で録画を停止したい場合は、録画中に[●]ボタンを押します。



## 手で電源をOFFにする

### 1 [電源] ボタンを1秒以上長押しする

※録画ファイルを保存して、電源がOFFになります。



### GPS 測位について…

購入後、初めてご使用される場合、障害物や遮へい物のない見通しのいい場所で10分～20分程度通電状態にし、GPSの電波を受信(測位)させます。

### バックアップ機能について

重大事故などで急に電源が断られた場合、バックアップ機能により、現在録画中の映像の破損を防いで保存します。

### 本機のリセット操作について

動作しなくなったり、誤作動を起こした時は、[電源] ボタンを10秒以上長押しし、再度[電源] ボタンを押して起動させてください。

※リセットしても microSD カードに記録された録画ファイルは消えません。

## 電池残量アイコンについて

電源ON時に、画面右上に次のように電池の状態を表示します。

状態	電池残量多い (満充電)	要充電 (残量10%以下)	外部電源接続中 (電源ON時)
アイコン			

**内蔵電池のみで本機は使用できません。必ず外部電源を接続してください。**

※搭載されている内蔵電池は、録画ファイルを安全に保存するための非常用電源として搭載しています。

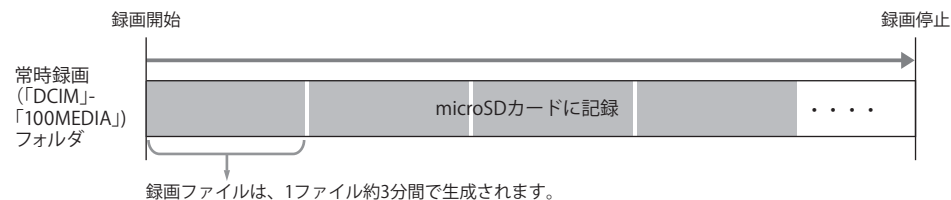
録画には、常時録画、イベント記録(ワンタッチ記録・Gセンサー記録)があります。

## 常時録画

エンジン始動(ACC ON)からエンジン停止(ACC OFF)までの映像を microSD カードに常時録画します。上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.30)

初期設定(1080P HD)で、同梱品の microSD カード(8GB)に約50分の常時録画が可能です。(☛ P.54)

### ◆ 録画開始から録画停止まで約50分以内の場合



### ◆ 録画開始から録画停止まで約50分を越える場合 (上書き設定は「常時記録上書き：ON」を設定)

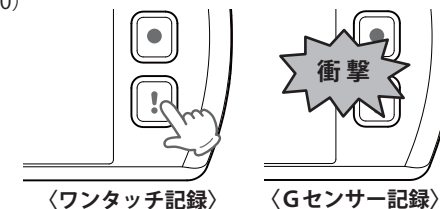


## イベント記録(ワンタッチ記録・Gセンサー記録)

常時録画中に [!] ボタンを押す(ワンタッチ記録)、内蔵のGセンサーが一定以上の衝撃を検知する(Gセンサー記録)と、1ファイル単位の映像を microSD カードの、専用フォルダ(ワンタッチ記録「recsw」、Gセンサー記録「gsensor」)に記録します。

1ファイルの録画時間は、「イベント時間」で設定した内容で保存します。(☛ P.30 P.47)

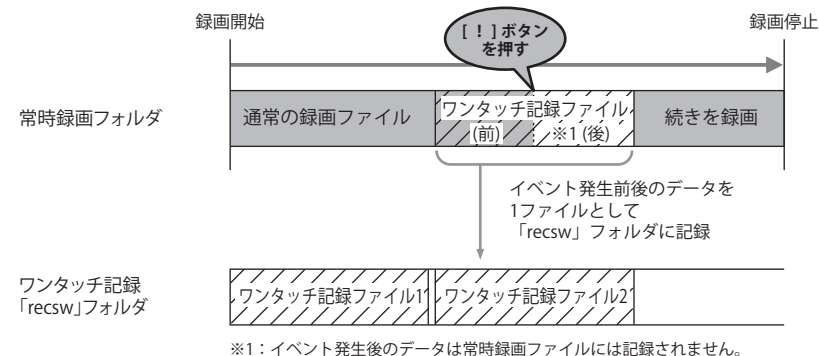
イベント記録できる件数は、ワンタッチ記録、Gセンサー記録、それぞれの記録方法で最大5件です。上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.30)



※ 録画中に [!] ボタンを押すと、イベント記録を行い、達成度が100%になるとイベント記録を終了し通常の常時録画に戻ります。イベント記録中に [●] または [!] ボタンを押すと「イベント記録をキャンセルしますか?」と表示され、[電源] ボタンを押すとキャンセル、[!] ボタンを押すと記録を続けます。

※ 専用アプリ DRY-WiFi Remote で動画を撮影する場合、本機のイベント記録ができません。あらかじめご了承ください。

### ◆ ワンタッチ記録の記録動作



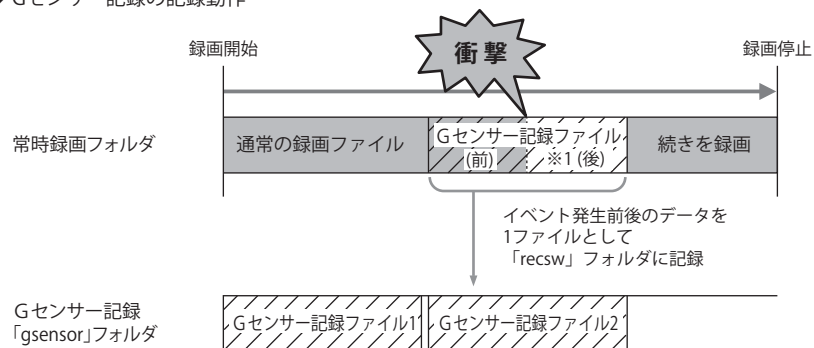
録画ファイルは、「イベント時間」で設定されたファイル構成で生成されます。(☛ P.30 P.47)

上書き設定をONにしている場合は、最大5件分保存した時点で次の記録は行いません。(☛ P.30)

### ⚠ 注意

❗ ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。

## ◆ Gセンサー記録の記録動作



※1：イベント発生後のデータは常時録画ファイルには記録されません。

録画ファイルは、「イベント時間」で設定されたファイル構成で生成されます。  
(● P.30 P.47)

上書き設定をONにしていない場合は、最大5件分保存した時点で次の記録は行いません。  
(● P.30)

上限を超える場合の動作は下記から選択できます。(● P.30)

※初期設定は「常時録画上書き：ON」「イベント記録上書き：ON」です。

## ● 上書き OFF (上書き禁止)

常時録画ファイル容量が microSD カードの上限に達した場合、常時録画が停止します。また、イベント記録ファイル (ワンタッチ記録、G センサー記録) がそれぞれ 5 件になった時点で、その記録方法でのイベント記録が停止します。

例①：ワンタッチ記録ファイルが 5 件になった場合、ワンタッチ記録ができなくなります。その後、G センサーでのイベント記録が発生し、G センサー記録ファイル件数が上限に達していない場合、G センサー記録として記録します。

例②：常時録画ファイル容量が microSD カードの上限に達した場合、常時録画の記録が停止し、さらにイベント記録も、ファイル数に関係なく記録が停止します。

※イベント記録ファイルとは、常時録画ファイルを移動したファイルです。

上書き OFF (上書き禁止) の場合、ファイル容量が上限に達すると右記の警告が表示されます。

どの録画ファイル容量が上限に達しているかをご確認の上、microSD カードのファイルを削除 (● P.35 P.45) するか、「上書き設定の ON/OFF」を変更してください。(● P.30)



常時録画ファイル容量が microSD カードの上限に達した場合の警告表示



イベント記録ファイルが上限に達した場合の警告表示

上書き設定		動作	
常時	イベント	常時録画	イベント記録 (ワンタッチ記録、Gセンサー記録)
ON	ON	常時録画ファイル容量がいっぱいになったら、常時録画フォルダの一番古いファイルから順に上書きします。	イベント記録ファイルが 5 件できたら、次のイベント記録時に古いファイルから順に上書きします。
ON	OFF	常時録画ファイル容量がいっぱいになったら、常時録画フォルダの一番古いファイルから順に上書きします。	イベント記録ファイルが 5 件できたら、警告を表示します。次のイベント記録が発生したら、「イベント領域がいっぱいです」と表示します。
OFF	ON	常時録画ファイル容量がいっぱいになったら、「microSDカードがいっぱいです」と表示し、常時録画を停止します。	イベント記録ファイルが 5 件できたら、次のイベント記録時に古いファイルから順に上書きします。常時録画フォルダがいっぱいになり、常時録画が停止すると、イベント記録も停止します。
OFF	OFF	常時録画ファイル容量がいっぱいになったら、「microSDカードがいっぱいです」と表示し、常時録画を停止します。	イベント記録ファイルが 5 件できたら、警告を表示します。次のイベント記録が発生したら、「イベント領域がいっぱいです」と表示します。常時録画フォルダがいっぱいになり、常時録画が停止すると、イベント記録も停止します。



本機で記録した画像や映像は、通常のファイルと同じようにパソコンで扱うことができます。以下の仕様を満たしたパソコンで、表示または再生することができます。

OS：Microsoft Windows 7 または 8  
CPU: Core2Duo 相当、2.0GHz 以上  
メモリ：2GB 以上

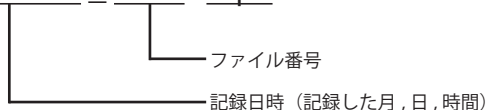
- ※ 本機とパソコンを、市販品の USB ケーブルなどで直接接続。または、本機から microSD カードを取り出して、microSD カードをパソコンと接続することが可能です。
- ※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ※ 再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
- ※ CPU やメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。
- ※ ご使用の microSD カード容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用した場合、microSD カード内のファイルが破損することがあります。

## ファイル名について

ファイル番号は記録した順に本機で自動設定されます。

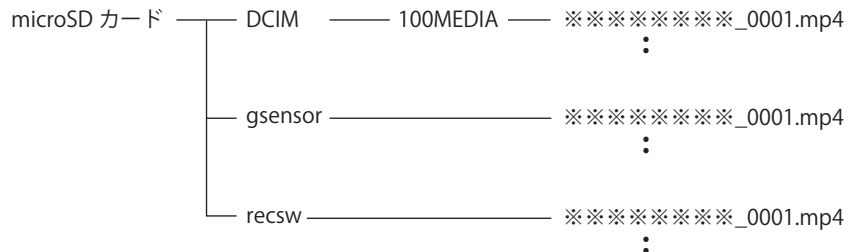
●常時録画ファイル、イベント記録（ワンタッチ記録、Gセンサー記録）ファイル

例 05071039 \_ 0001 . mp4 — 動画



## フォルダ構造について

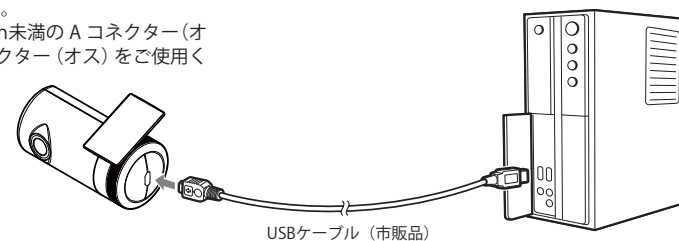
各ファイルは下記のフォルダ構造で保存されています。



## 本機をパソコンと接続する

### 1 パソコンの電源を入れ、市販品の USB ケーブルで本機とパソコンを接続する

- ※ 本機は電源 OFF の状態で接続してください。
- ※ パソコンへ接続している時は、本機を操作することはできません。
- ※ USB ケーブルは、1 m未満の A コネクタ (オス) /microUSB コネクタ (オス) をご使用ください。

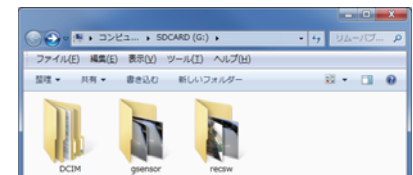


### 2 ドライバーがインストールされ、SDCARD として認識される



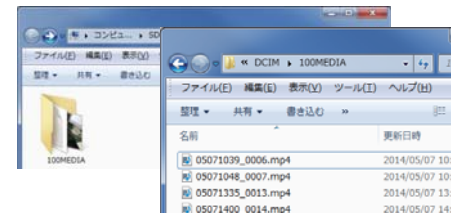
### 3 SDCARD を開き、表示、または再生したいファイルがあるフォルダを開く

- ・「DCIM」(常時録画フォルダ) →「100MEDIA」
- ・「gsensor」(G センサー記録フォルダ)
- ・「recsw」(ワンタッチ記録フォルダ)



### 4 目的のフォルダを開き、録画ファイルをダブルクリックする

- ・Windows 標準の Windows Media Player で再生することができます。
- ※ 3M で記録された録画ファイルは、Media Player で再生できない場合があります。

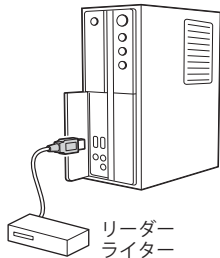


# 録画ファイルの読み出しについて

## microSD カードをパソコンと接続する

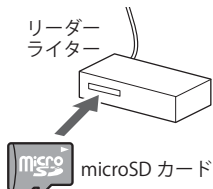
### 1 リーダーライターをパソコンに接続する

※ microSD カードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要はありません。



リーダーライター

### 2 同梱品の microSD カードをリーダーライターに接続する

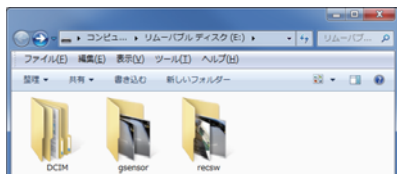


リーダーライター

microSD カード

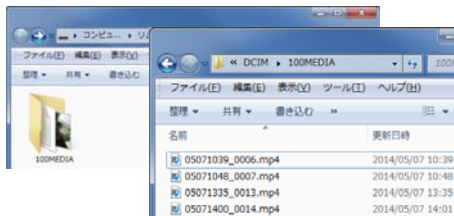
### 3 microSD カードを開き、表示、または再生したいファイルがあるフォルダを開く

- ・「DCIM」(常時録画フォルダ) →「100MEDIA」
- ・「gsensor」(G センサー記録フォルダ)
- ・「recsw」(ワンタッチ記録フォルダ)



### 4 目的のフォルダを開き、録画ファイルをダブルクリックする

- ・ Windows 標準の Windows Media Player で再生することができます。
- ※ 3M で記録された録画ファイルは、Media Player で再生できない場合があります。



# 映像を記録する

## 動画記録モード

エンジン始動 (ACC ON) からエンジン停止 (ACC OFF) までの映像を microSD カードに常時録画します。  
※「自動録画」の設定で ON/OFF が可能です。(P.30)

(無線 LAN 非接続時) (GPS 非測位時)



No.	表示名	説明
①	無線 LAN アイコン	無線 LAN 設定 ON の時表示します。(P.29) 無線 LAN 接続中は、↑がオレンジ色になり、非接続時は↑が灰色になります。
②	GPS アイコン	GPS を受信レベルで表示します。 GPS 測位時は、■が緑色になり、非測位時は■が灰色になります。
③	録画アイコン	録画時「REC」が点滅表示します。
④	音声録音 OFF アイコン	音声録音設定が OFF の時表示します。(P.30) 音声録音設定 ON の時はアイコンは表示しません。
⑤	外部電源接続中アイコン	外部電源を接続した時に表示されます。
⑥	ファインダー	録画面を表示します。
⑦	日付・時刻	現在の日付と時刻を表示します。

## 動画記録モード時のボタンの機能

ボタン	機能
電源ボタン	録画中に押すと、音声録音の ON/OFF を切り替えます。 録画停止中に押すと、設定画面を表示します。
● ボタン	録画中に押すと、録画を停止します。 録画停止中に押すと、録画を開始します。
! ボタン	録画中に押すと、イベント記録を開始します。 録画停止中に押すと、録画を開始します。

## 映像を記録する

### 記録を開始する

本機は、エンジンキーに連動して録画を開始します。

※「自動録画」の設定でON/OFFが可能です。(●P.30)

- 1 本機と車両の電源が接続されていることを確認し、エンジンキーをONにする

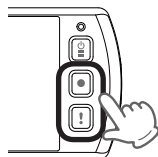


- 2 「自動録画」の設定がONの場合は、自動で録画を開始する

※「自動録画」の設定がOFFの場合は、[●]または[!]ボタンを押すと、録画が開始されます。

※ 録画開始時にシャッター音がします。

※ 録画中に[!]ボタンを押すと、イベント記録を行い、達成度が100%になるとイベント記録を終了し通常の常時録画に戻ります。イベント記録中に[●]または[!]ボタンを押すと「イベント記録をキャンセルしますか?」と表示され、[電源]ボタンを押すとキャンセル、[!]ボタンを押すと記録を続けます。



「自動録画」の設定がOFFの場合は、[●]または[!]ボタンを押します。

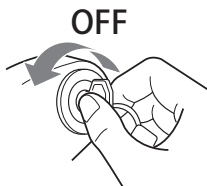
### 記録を停止する

本機は、エンジンキーに連動して録画を停止します。

※「自動録画」の設定でON/OFFが可能です。(●P.30)

- 1 エンジンキーをOFFにする

※ エンジンキーをOFFにし、本機への給電が断れると「録画を継続しますか?」と表示されます。録画を継続しない場合は[!]ボタンを押します。また、「録画を継続しますか?」と表示されてから10秒間操作しないと、自動的に電源がOFFになります。内蔵電池で録画を継続する時は10秒以内に[電源]ボタンを押します。



### 録画中のファインダーを非表示にする

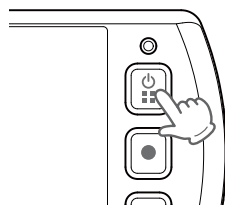
- 1 本機の電源がONの状態、[電源]ボタンを2回押し、動画記録モード設定メニューを表示する

※ 録画中は設定メニューが表示されません。[●]ボタンを押して録画を停止してから行ってください。

- 2 [●]ボタンで「画面自動オフ」を選択し、[!]ボタンでONにする

※ 電源ONから60秒後に自動的に画面がOFFになります。(●P.30)

※ 再度画面を表示するには、[電源]ボタン、[●]ボタン、[!]ボタン(録画中で画面OFFの場合は、ワンタッチ記録になります。)、のいずれかを押してください。



(2回押し)

## 設定を変更する

つづく

### 設定メニュー

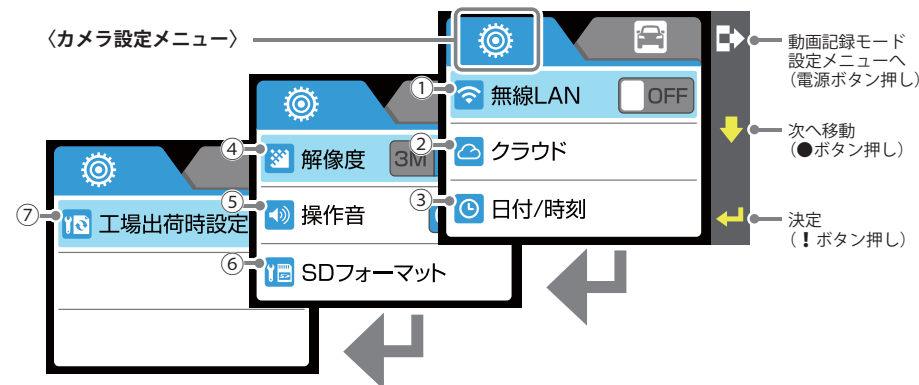
設定メニュー画面で本機の各種設定が行えます。青色の枠が移動し、選択項目を選びます。

[●]ボタンで次の項目への移動、[!]ボタンで決定します。

※ 設定は本体操作、専用アプリ(DRY-WiFi Remote)のどちらからでも行えます。(●P.46)

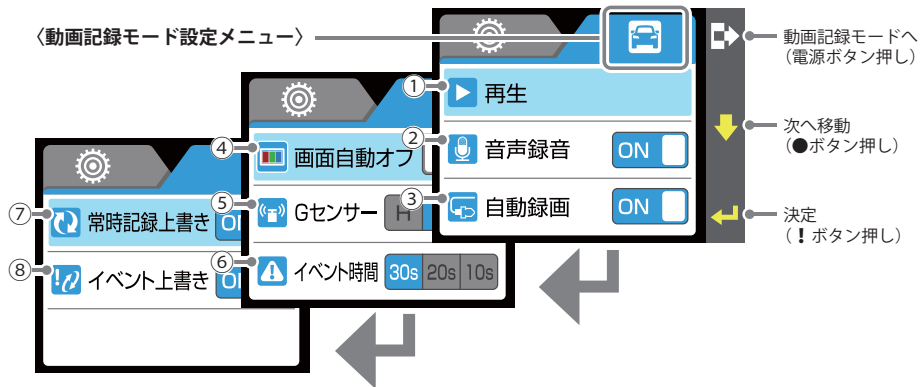
※ 操作が行われない状態が一定時間続くと、動画記録モードへ戻ります。

### カメラ設定メニュー



No.	メニュー	説明
①	無線LAN 初期値：OFF	無線LANのON/OFFを設定します。
②	クラウド	クラウドの接続をします。(●P.49)
③	日付/時刻	日付/時刻を設定します。 ※ 手動で設定した場合でも、GPSの日付/時刻情報が優先され、変更されます。
④	解像度 初期値：1080p	撮影する映像のサイズを設定します。 3M：2304 × 1296 1080p(1080p HD)：1920 × 1080 ※ 1080pより3Mの方が録画ファイルの容量が大きくなります。
⑤	操作音 初期値：ON	本機の操作音のON/OFFを設定します。
⑥	SDフォーマット	microSDカードをフォーマットします。 (●P.32「microSDカードをフォーマットする」)
⑦	工場出荷時設定	本機の設定を工場出荷時の設定に戻します。

動画記録モード設定メニュー



No.	メニュー	説明
①	再生	保存されている映像を再生します。
②	音声録音 初期値：ON	音声録音の ON/OFF を設定します。
③	自動録画 初期値：ON	エンジンキー連動で録画開始の ON/OFF を設定します。
④	画面自動オフ 初期値：OFF	電源ONから60秒で画面がOFFになる設定の ON/OFF を設定します。
⑤	Gセンサー 初期値：L	本機のGセンサーが、イベント記録を行う衝撃の感度を設定します。 H (Hi) / L (Lo) / OFF
⑥	イベント時間 初期値：30s	イベント記録の前後の時間(秒)を設定します。 30s(前後30秒) / 20s(前後20秒) / 10s(前後10秒)
⑦	常時記録上書き 初期値：ON	常時録画ファイル容量が microSD カードの上限に達した場合、古いファイルから上書きされます。
⑧	イベント上書き 初期値：ON	イベント記録ファイル(ワンタッチ記録、Gセンサー記録)が5件を超えた場合、古いファイルから上書きされます。

設定メニュー時のボタン機能

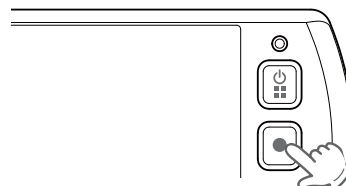
ボタン	機能
電源ボタン	押すたびに画面が切り替わります。 (カメラ設定メニュー)→(動画記録モード設定メニュー)→(動画記録モード)
● ボタン	次の項目へ移動します。
! ボタン	選択項目を決定します。

日付 / 時刻を設定する

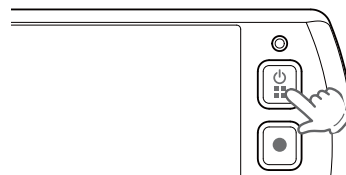
本機での「日付 / 時刻」の設定は、本体操作、アプリ操作(P.48)のどちらからでも行えます。

※ 手動で設定した場合でも、GPSの日付 / 時刻情報が優先され変更されます。

- 1 本機の電源が ON になっていることを確認し、録画中の場合は、[●] ボタンを押し、録画を停止する
- 4 [●] ボタンで選択し、[!] ボタンで変更する



- 2 [電源] ボタンを押し、設定メニューを表示する



- 3 [●] ボタンで「日付 / 時刻」を選択し、[!] ボタンで決定する



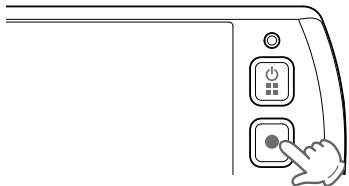
※ [●] ボタンを押していくと、カメラ設定メニューへ戻ります。



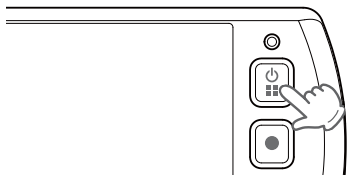
## microSD カードをフォーマットする

初めてご使用になる場合は、必ず microSD カードを本機でフォーマット(初期化)してください。本機でフォーマットを行わずご使用になると、本機の動作不良や microSD カードの書き込みエラーなどの不具合が発生し、映像がうまく記録されない場合があります。本機でのフォーマットは、本体操作、アプリ操作(● P.48)のどちらからでも行えます。

- 1 本機の電源がONになっていることを確認し、録画中の場合は、[●] ボタンを押し、録画を停止する



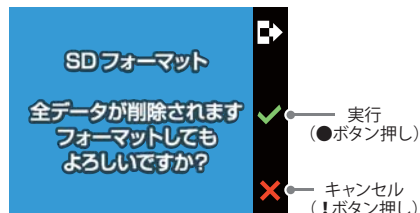
- 2 [電源] ボタンを押し、カメラ設定メニューを表示する



- 3 [●] ボタンで「SD フォーマット」を選択し、[!] ボタンで決定する



- 4 [●] ボタンで実行する

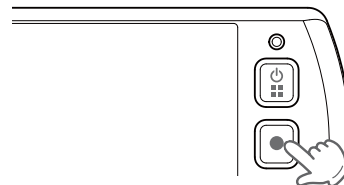


※ SD フォーマットが完了すると、動画記録モードになります。

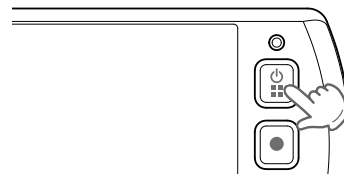
## 工場出荷時設定にする

本機の設定を工場出荷時の状態に戻します。本機での「工場出荷時設定」は、本体操作、アプリ操作(● P.48)のどちらからでも行えます。

- 1 本機の電源がON になっていることを確認し、録画中の場合は、[●] ボタンを押し、録画を停止する



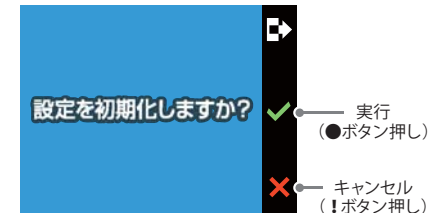
- 2 [電源] ボタンを押し、カメラ設定メニューを表示する



- 3 [●] ボタンで「工場出荷時設定」を選択し、[!] ボタンで決定する



- 4 [●] ボタンで実行する



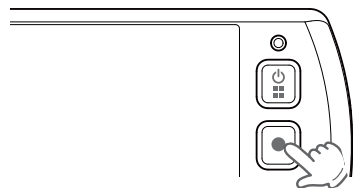
※ 設定の初期化が完了すると、動画記録モードになります。

# 録画ファイルを再生する

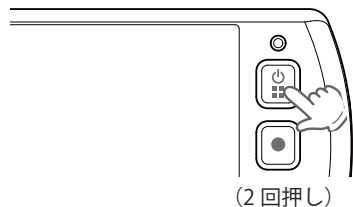
## 再生画面

記録したファイルを本機上で見ることができます。

- 1 本機の電源が ON になっていることを確認し、録画中の場合は、[●] ボタンを押し、録画を停止する



- 2 [電源] ボタンを 2 回押し、動画記録モード設定メニューを表示する



- 3 [●] ボタンで「再生」を選択し、[!] ボタンで決定する



## 動画記録モード再生画面

再生したいファイルを表示し、▶(再生)を選択するとファイルが再生されます。  
※イベント記録したファイルはアイコンが表示されます。

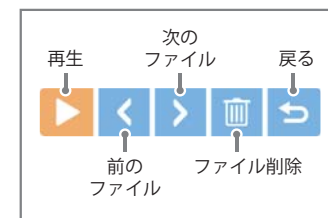
### <再生ファイル選択画面>

### <再生中画面>

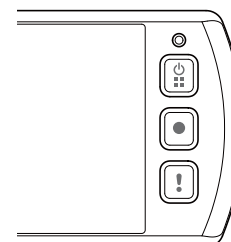


## 再生ファイル選択画面のメニュー

再生ファイル選択画面のメニューは右記の動作を行います。動作項目がオレンジ色に変わります。  
[●] ボタンで項目移動、[!] ボタンで決定します。



## 再生時のボタンの機能



ボタン	機能
電源ボタン	動画記録モードに戻ります。
●ボタン	再生、一時停止を切り替えます。
! ボタン	再生を停止し、再生ファイル選択画面に戻ります。

# 専用アプリ DRY-WiFi Remote について

DRY-WiFi Remote を使用し、スマートフォンと本機を接続することができます。  
本機の種類設定は、以下の性能を満たしたスマートフォンやタブレット等で行うことができます。

Android : 4.0 ~ 4.4、5.0、5.1、6.0 (Google Play 対応)  
※ Android 5 から 6 にバージョンアップしたスマートフォンにおいては非対応となります。  
iOS : 6.0、7.0、8.0、9.0、10.0 ~ 10.3  
上記以降の OS では動作保証いたしかねます。あらかじめご了承ください。

※ クラウドサービスは 2021 年まで無償サポートを継続いたします。

## アプリのインストール

DRY-WiFi Remote をスマートフォンにインストールします。  
iPhone は「App Store」、Android は「Google Play」から「DRY-WiFi Remote」をインストールします。  
対応機種などは弊社ホームページをご覧ください。  
<http://www.yupiteru.co.jp/>



## 本機とアプリの接続

本機とスマートフォンの接続方法は 2 つあります。

- **Local 接続**……本機とスマートフォンを直接無線 LAN で接続します。  
録画・再生などの操作のほかに、本機の設定を変更できます。
- **Internet 接続**……本機とスマートフォンをアクセスポイント (AP) 経由で接続します。  
撮影中の映像の確認ができます。

※ Internet 接続する前に Local 接続で設定を行う必要があります。

## 接続・撮影時のご注意

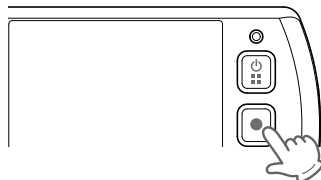
本機とスマートフォンを接続して撮影を行うとき、スピーカーから出た音をマイクが拾ってしまいハウリング(異常音)が起こることがあります。その場合は音量を下げてご使用ください。

## 本機を設定する (Local 接続)

本機とアプリを Local 接続する場合、先に本機を設定してからアプリに接続します。

- 1 本機の電源が ON になっていることを確認し、録画中の場合は、[●] ボタンを押して、録画を停止する

※ 録画中は、本機の設定ができません。



- 2 [電源] ボタンを押してカメラ設定メニューを表示する



- 3 [●] ボタンで「無線 LAN」を選択し、[!] ボタンで ON にする



## スマートフォンを設定する (Local 接続)

- 1 お使いのスマートフォンを本機の無線 LAN に接続する

- 接続方法はスマートフォンの取扱説明書にそって WiFi 接続してください。
- 本機の無線 LAN は「YP-」から始まるネットワーク名で表示されます。  
※ 「XXXXXXXX」の部分は、初期値は本機のカメラ ID が表示されます。  
※ 録画中は、本機の無線 LAN に接続できません。(● P.18「録画の停止」)



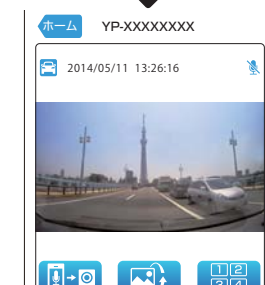
- 2 アプリ「DRY-WiFi Remote」を起動し、[Local] をタッチする



- 3 [YP-XXXXXXXX] をタッチする



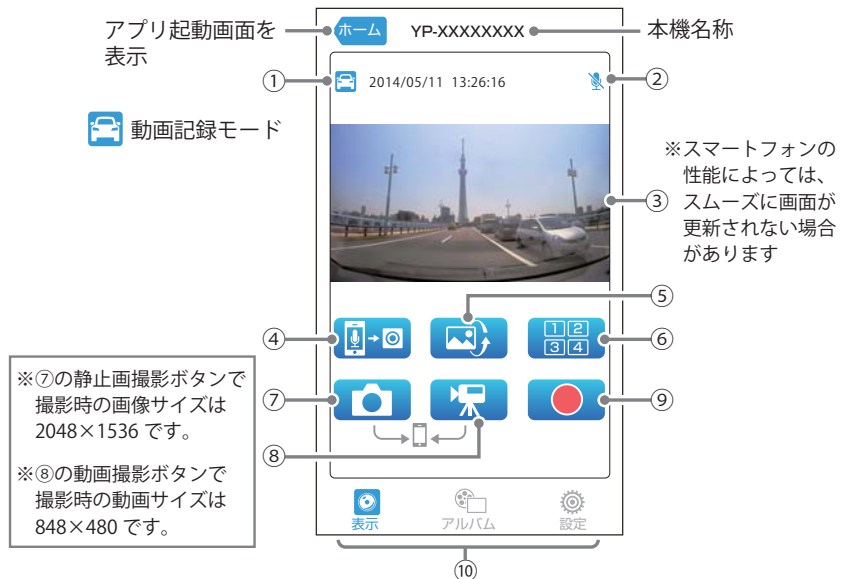
- 撮影モード画面が表示されます。



本機との接続に成功すると、本機をアプリ上で操作できます。

※専用アプリ DRY-WiFi Remote で動画を撮影する場合、本機のイベント記録 (P.21) ができません。あらかじめご了承ください。

## 撮影モード画面



No.	表示名	説明
①	モードアイコン 日時	動画記録モードのアイコンを表示します。本機内の日時や記録時間を表示します。
②	音声録音 OFF アイコン	音声録音が OFF の場合に表示します。
③	記録映像	本機で撮影している映像を表示します。スマートフォンを横に向けると、全画面表示になります。
④	トークボタン	スマートフォンの音声を本機に送ります。
⑤	上下反転ボタン	撮影している映像の上下を反転します。本機表示は上下反転して表示されます。
⑥	マルチカメラボタン	本機を複数台同時に接続でき、マルチ画面表示が可能です。
⑦	静止画撮影ボタン	タップすると、本機で撮影した静止画を直接スマートフォンに保存します。※本機には保存されません。
⑧	動画撮影ボタン	タップすると、本機で撮影した動画を直接スマートフォンに保存します。※本機には保存されません。
⑨	録画ボタン	タップすると、本機に録画します。
⑩	メニューボタン	アプリの機能を切り替えます。 表示アイコン：撮影モード アルバムアイコン：アルバムモード 設定アイコン：設定モード

## 動画を撮影する

本アプリでは、動画の撮影方法が2つあります。

### 映像をスマートフォンへ保存する



- ・撮影を開始します。撮影中は●マークが点滅します。
- ・撮影中は、記録時間を表示します。

### 映像を本機へ保存する



- ・撮影を開始します。撮影中は●マークが点滅します。



- ・記録を停止し、本機で撮影した映像をスマートフォンに保存します。



- ・記録を停止し、映像を本機に保存します。



## 静止画を撮影する

本アプリでは、デジタルカメラのように静止画を撮影できます。

### 1 [カメラ] をタッチする

- ・撮影した静止画をスマートフォンに保存します。

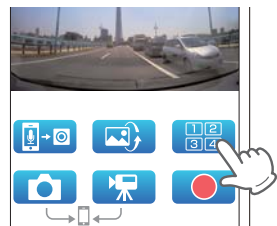


## マルチカメラボタンを使う

本アプリでは、最大4台の記録映像を同時に表示できます。  
接続する本機の無線LANは、あらかじめONに設定してください。(P.29)

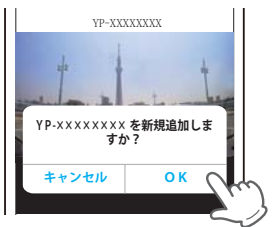
## マルチカメラを起動する

### 1 [1/2/3/4] をタッチする



- ・「YP-xxxxxxxを新規追加しますか?」と表示します。
- ※「xxxxxxx」の部分は、初期値は本機のカメラIDが表示されます。

### 2 [OK] をタッチする



### 3 任意のパスワードを入力し、[OK] をタッチする



- ・パスワードは初期値では設定されていません。パスワードを設定していない場合は、空欄のまま[OK]をタッチします。
- ・マルチカメラが起動します。

1台目の記録映像

2台目の記録映像



## マルチカメラで撮影する

マルチカメラで表示した映像を複数台同時に撮影し、スマートフォンに保存できます。

### 1 [マルチカメラ] をタッチする



- ・撮影を開始します。撮影中は●マークが点滅します。



### 2 [停止] をタッチする



- ・記録を停止し、本機で撮影した映像をスマートフォンに保存します。

## カメラを切替える(撮影モード画面を表示する)

カメラを切替えて、撮影モード画面を表示します。

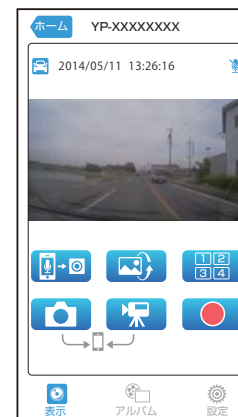
### 1 撮影モード画面を表示させたい記録映像をタッチする

1台目の記録映像

2台目の記録映像

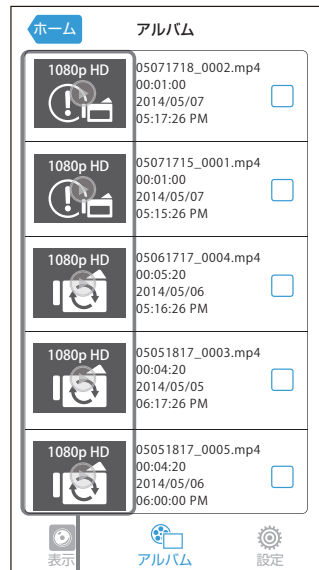


- ・撮影モード画面に切り替わります。



アルバムモードでは、本機に記録された映像をスマートフォンで見ることができます。

## アルバムモード画面



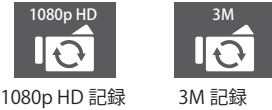
ファイルアイコン

録画ファイル  
 ・ファイル名  
 ・記録長さ  
 ・記録日  
 ・記録時間

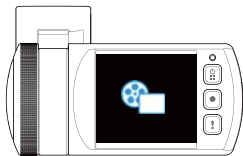
### ●ファイルアイコンについて

記録された映像サイズ、記録条件によってアイコンが変わります。

#### ・常時録画ファイル



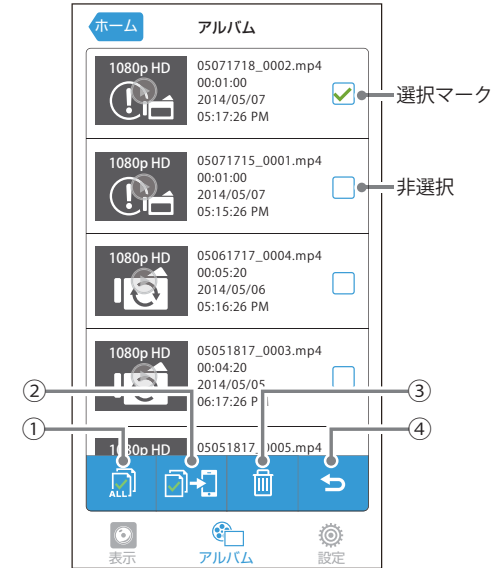
#### ・イベント記録ファイル



<アルバムモード時の本機表示>  
 アルバムモード時は、本機での操作が行えません。

## ファイル操作メニュー

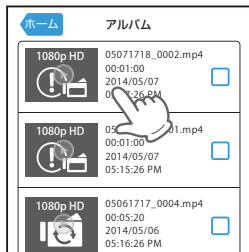
録画ファイルの右側□を選択することで、録画ファイルを操作できます。



No.	表示	説明
①	全選択	すべてのファイルを選択します。
②	選択ファイルコピー	選択したファイルをスマートフォンにコピーします。
③	削除	選択したファイルを本機から削除します。
④	戻る	アルバムモード画面に戻ります。

## ファイルを再生する

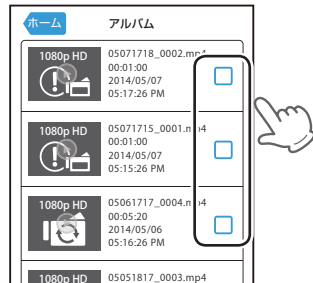
## 1 再生する録画ファイルをタッチする



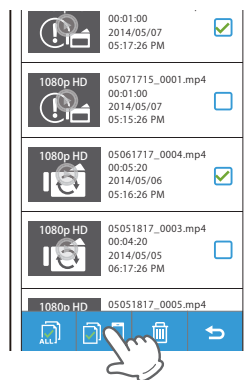
・映像を再生します。


- ※ スマートフォンを横に向けると、全画面表示になります。
- ※ 再生時のメニューは、スマートフォンの機種によって異なります。
- ※ 3M で記録された録画ファイルは、機種によって再生できない場合があります。

## ファイルをコピーする

1 コピーする録画ファイルの  をタッチする

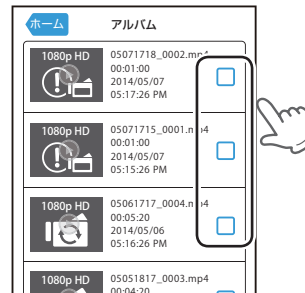
※ 選択すると  が  に変わります。

2  をタッチする

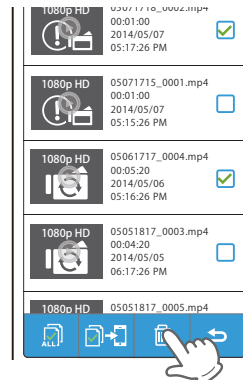
- ・選択したファイルをスマートフォンへコピーします。
- ・コピー中に [キャンセル] をタッチすると、コピーを中止します。
- ・ をタッチすると、ひとつ前の画面へ戻ります。

※ コピーを行っても、本機内のコピー元のファイルは削除されません。(● P.45「ファイルを削除する」)

## ファイルを削除する

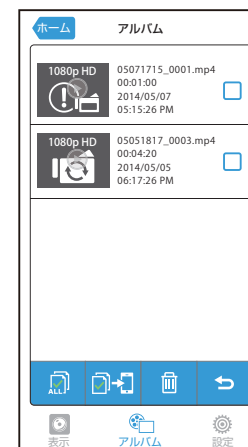
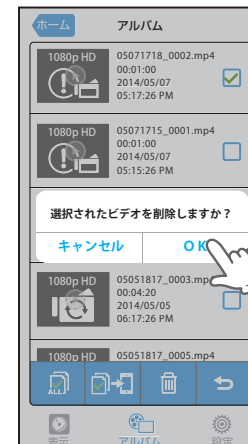
1 削除する録画ファイルの  をタッチする


※ 選択すると  が  に変わります。

2  をタッチする

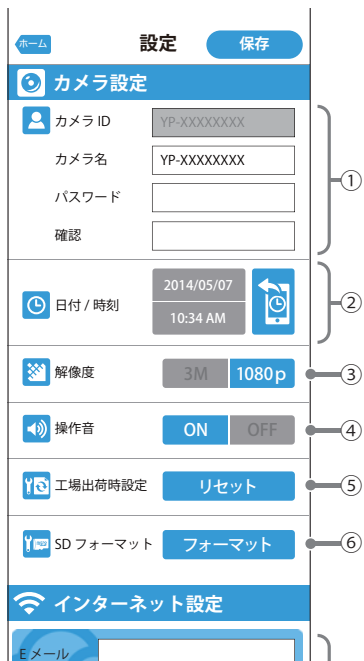
- ・「選択されたビデオを削除しますか？」と表示します。

## 3 [OK] をタッチする

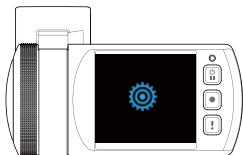


- ・ をタッチすると、ひとつ前の画面へ戻ります。

## 設定モード画面







次ページへ続く

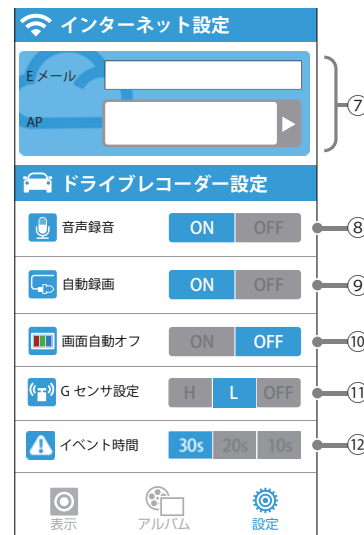


<設定モード時の本機表示>

設定モード時は、本機での操作が行えません。

## カメラ設定

No.	内容
①	カメラ ID： 本機の固有の ID を表示します。 カメラ名： 本機に名称を設定できます。 パスワード：(初期値：設定なし) 次回アプリで接続する時にパスワードを設定 できます。 確認：パスワードの再入力
②	日付 / 時刻： スマートフォンの日付 / 時刻情報を本機に送 り同期させます。  をタッチすると、同期します。 (  P.48「日付 / 時刻を設定する」)
③	解像度：(初期値：1080p) 撮影する映像のサイズを設定します。 3M：2304 × 1296 1080p (1080p HD)：1920 × 1080 (初期値) ※1080p より 3M の方が録画ファイルの容量 が大きくなります。
④	操作音：(初期値：ON) 本機を操作する時の音を ON/OFF できます。
⑤	工場出荷時設定： 本機の設定を工場出荷時の状態に戻します。
⑥	SD フォーマット：  をタッチします。 (  P.48「SD カードをフォーマットする」)



## インターネット設定

No.	内容
⑦	Eメール： 任意で設定します。 AP(アクセスポイント)： クラウド接続のために、周囲の SSID (アクセ スポイントの識別子) を表示します。

AP(アクセスポイント)の設定は P.49 をご覧ください。

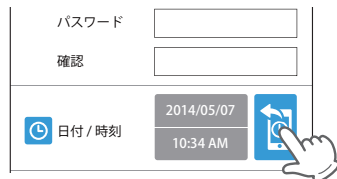
## ドライブレコーダー設定

No.	内容
⑧	音声録音：(初期値：ON) 音声録音の ON/OFF を設定します。
⑨	自動録画：(初期値：ON) エンジンキー連動で録画開始の ON/OFF を設 定します。
⑩	画面自動オフ：(初期値：OFF) 電源 ON から 60 秒で画面が OFF になる設定 の ON/OFF を設定します。
⑪	G センサ設定：(初期値：L) 本機の G センサーが、イベント記録を行う 衝撃の感度を変更できます。 H (Hi) / L ((Lo) 初期値) / OFF
⑫	イベント時間：(初期値：30s) イベント記録の前後の時間(秒)を設定します。 30s：前後 30 秒(初期値) 20s：前後 20 秒 10s：前後 10 秒

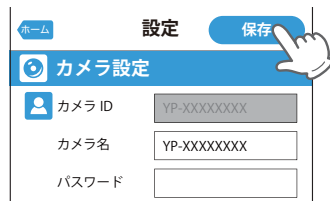
### 日付 / 時刻を設定する

スマートフォンの日付 / 時刻情報を本機に送り同期させます。

#### 1 [設定] をタッチする



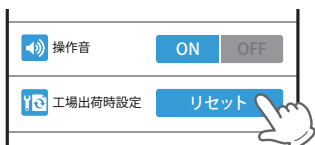
#### 2 [保存] をタッチする



### 工場出荷時設定にする

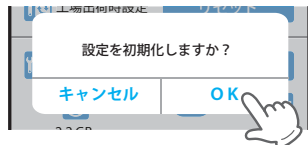
本機の設定を工場出荷時の状態に戻します。

#### 1 [リセット] をタッチする



・「設定を初期化しますか?」と表示されます。

#### 2 [OK] をタッチする



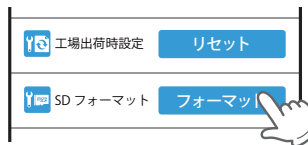
#### 3 [保存] をタッチする



### microSD カードをフォーマットする

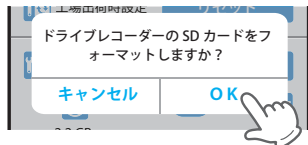
microSD カードをフォーマットします。

#### 1 [フォーマット] をタッチする



・「ドライブレコーダーのSDカードをフォーマットしますか?」と表示されます。

#### 2 [OK] をタッチする



#### 3 [保存] をタッチする



### Internet 接続する

Internet 接続をする前に、あらかじめ Local 接続を行い、アプリの「設定モード画面」を表示させておきます。

※クラウドサービスについて  
クラウドサービスは2021年まで無償サポートを継続いたします。

### スマートフォンを設定する

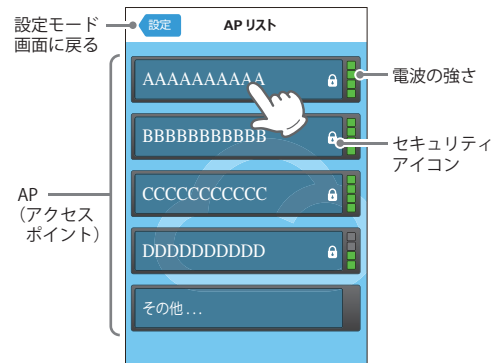
本機とアプリを Internet 接続する場合、先に本機を設定してからアプリに接続します。

#### 1 「インターネット設定」の[Eメール]をタッチし、任意のメールアドレスを入力する



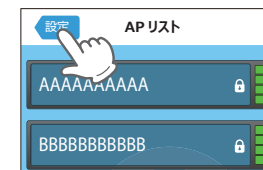
※ メールアドレスを入力しないと、Internet 接続ができません。  
入力したメールアドレスは、認証の目的においてのみ使用し、他の目的には一切使用しません。

#### 2 [AP] をタッチし、表示された AP リストの中から接続する AP 名をタッチする

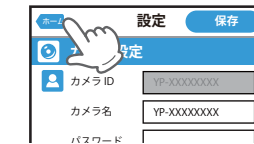


※ セキュリティがかかっている AP はパスワードの入力を求められますので、AP のパスワードを入力してください。  
※ AP のパスワードはお持ちの AP の取扱説明書などを参照してください。

#### 3 [設定] をタッチして、前の画面に戻る

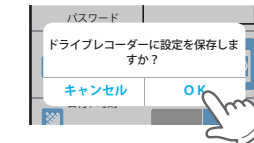


#### 4 [ホーム] をタッチする



・「ドライブレコーダーに設定を保存しますか?」と表示されます。

#### 5 [OK] をタッチする



・アプリの起動画面が表示されます。

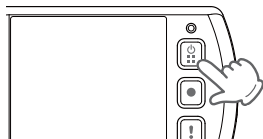




本機を設定する

1 [電源] ボタンを押し、設定メニューを表示する

※ 録画中は設定メニューが表示されません。  
[●] ボタンを押し、録画を停止してから行ってください。



2 [●] ボタンで「クラウド」を選択し、[!] ボタンで決定する



・「接続中です・・・」と表示します。



・マークが表示され、クラウドへの接続が完了します。



・[!] ボタンを押すとクラウドへの接続をキャンセルします。

※ クラウド接続時は、本機では「キャンセル」以外の操作ができません。

● クラウドに接続できない場合

エラー表示	エラーの状態と対処方法
	AP(アクセスポイント)の接続エラー 本機とAPが接続できません。 お使いのAPの設定を確認してください。
	クラウドの接続エラー APとクラウドが接続できません。 お使いのアプリのバージョンを確認してください。最新のバージョンでない場合、クラウド接続ができない恐れがあります。

クラウドに接続する

1 [Internet] をタッチする



2 + をタッチする



3 [カメラ ID] をタッチし、入力する



※ カメラ ID は、本機画面に表示されています。( P.46 「カメラ設定」→「カメラ ID」)

4 [パスワード] をタッチし、入力する

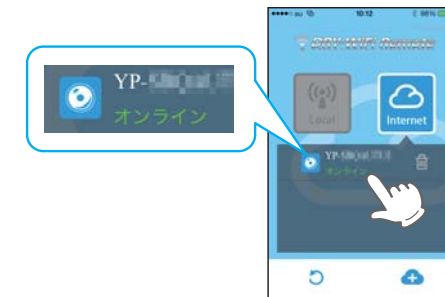


※ パスワードは、初期値では設定されていません。パスワードを設定していない場合は、空欄のままにします。  
( P.46「カメラ設定」→「パスワード」)

5 [OK] をタッチする

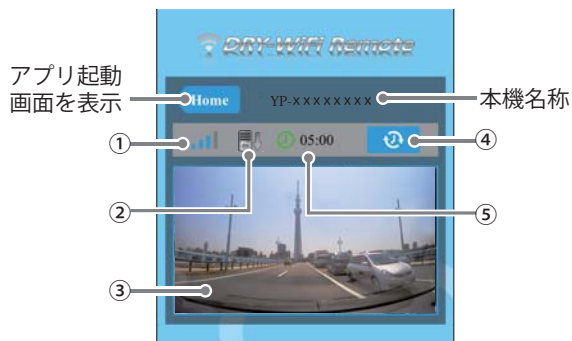


6 「検索中」が「オンライン」に切り替わったことを確認して、接続するカメラ名をタッチする



Internet 接続では、本機で映し出している映像をスマートフォン上に表示します。

Internet 接続画面



※ スマートフォンの性能によっては、スムーズに画面が更新されない場合があります。

No.	表示名	説明
①	通信状態	端末とクラウドの通信状態を表示します。
②	クラウド接続アイコン	クラウド接続中に表示します。
③	映像	本機で映し出している映像を表示します。 スマートフォンを横に向けると、全画面表示になります。
④	リセットボタン	タッチすると接続可能時間をリセットします。
⑤	接続可能時間	クラウドに接続可能な時間をカウントダウンします。

リアルタイム映像の表示

1 [リセット] ボタンまたは映像をタッチする



- ・接続可能時間のカウントダウンが始まり、リアルタイム映像を表示します。
- ・接続可能時間が「0:00」になると映像が非表示になります。再度 [リセット] ボタンまたは映像をタッチすると、映像を表示します。

故障かな？

電源が入らない

- 電源内部のヒューズが切れていないか確認してください。

▶15  
▶16

映像が記録できない

- 同梱品の microSD カードが正しく挿入されていますか。

▶14

マルチカメラを起動しても、2台目以降のカメラに接続できない

- 2台目以降のカメラは、無線 LAN が ON になっていますか。
- 2台目以降のカメラは、動画記録停止中になっていますか。  
録画中は本機への接続ができません。録画中の場合は、[●] ボタンを押して録画を停止してください。

▶29

▶18

「microSD カードがいっぱいです」という表示が出る

- 常時録画ファイル容量が microSD カードの上限に達しています。常時録画ファイルを削除し、microSD カードの空き容量を増やすとお使いいただけます。  
また、表示が頻繁に出る場合は、下記をご確認ください。
- ・カメラ設定の解像度を下げる  
※1080p より 3M の方が録画ファイルの容量が大きくなります。
- ・書き設定を変更する
- ・容量が大きい microSD カードで本機を使用する
- ・microSD カードをフォーマットする  
※microSD カードは 1～2 週間に一度、フォーマットを行うことをお勧めします。

▶23

▶29

▶46

▶30

—

▶32

▶48

モニター画面に斑点や輝点がある

- 液晶パネルの現象です、故障ではありません。(有効画素の中に画素欠けや常時点灯する場合があります。)

▶8

動作しなくなったり、誤作動を起こす

- [電源] ボタンを 10 秒以上長押しして本機をリセットしてください。
- microSD カード内の記録映像をバックアップなどしてから、本機で microSD カードをフォーマットし、再度記録を開始してください。

▶18

▶32

▶48

スマートフォンと接続時に変な音がある

- 本機とスマートフォンを接続して撮影を行うとき、スピーカーから出た音をマイクが拾ってしまいハウリング(異常音)が起こることがあります。その場合は音量を下げてご使用ください。

—

専用アプリのパスワードを忘れてしまった

- 本機にて工場出荷時の設定に戻します。  
その後本機とアプリを再度接続し、パスワードを再設定します。  
※工場出荷時の設定に戻すと、全ての設定が初期値に戻ります。

▶33

▶48

電源電圧	本体：DC5V (DC12V マイナスアース車専用)
消費電力	5W
カメラ素子	4メガピクセル カラーCMOS
視野角 ※1	レンズ画角 : 対角179° 最大記録画角 : 115° (水平)、60° (垂直))
モニター	1.5インチ フルカラーTFT液晶
記録解像度	動画：300万画素 静止画：300万画素
画像サイズ	動画：3M (2304 x 1296)/1080P HD (1920 x 1080) 動画：848 x 480 (アプリでスマートフォンに保存) 静止画：2048 x 1536 (アプリでスマートフォンに保存)
録画ファイル構成	常時録画：3分単位 イベント記録(ワンタッチ記録・Gセンサー記録)：最大1分単位
記録媒体	microSDカード(8GB同梱) ※最大64GBまで対応
記録形式	動画：MP4 (H.264) 静止画：JPEG
フレームレート	30フレーム/秒
動作温度範囲	-10℃～+60℃
外形寸法	85 (W) ×40 (直径) mm (突起部除く) ※取付ブラケット(テープ貼付)装着時 54 (H) mm (窓ガラス25° 想定の場合)
重量	約70g (microSDカード含む)

※1 解像度により記録される視野角が変化します。  
※1 超広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。

#### ● 記録時間の目安

microSD カード容量	1080P HD	3M
64GB	約 480 分	約 400 分
32GB	約 240 分	約 200 分
16GB	約 120 分	約 100 分
8GB (同梱品)	約 60 分	約 50 分
4GB	約 30 分	約 25 分

- ・上記値は目安で、絶対保障値ではありません。
  - ・記録時間は、常時録画、イベント記録(ワンタッチ記録・Gセンサー記録)の全ての記録時間の合計です。お使用の状況により、記録可能時間は変化します。
  - ・被写体や周囲環境などの要因により、記録可能時間と件数は変化します。
  - ・本機は、4GB以上、32GB以下のmicroSDHC、64GB以下のmicroSDXCカードに対応しています。(SDスピードクラス※「Class4」以上)
  - ・この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。
- ※ SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

※お使用の状況、被写体や周囲環境などの要因、録画ファイル構成の設定値(▶P.30 P.47)により記録可能時間と件数は変化します。

#### ●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

#### ●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

#### ●対象部分機器

本体(消耗部品は除く)

#### ●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居で贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

#### ○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。  
保証書の内容に従って修理いたします。

#### ○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。  
※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

### ユピテルで相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 紛失等による同梱品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

### 故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター



0120-998-036

取扱説明書は随時更新されます。最新版の取扱説明書は当社ホームページにてご確認ください。  
<http://www.yupiter.co.jp/>